

せんぼく

2012.3

第26号

- 角館地区・西木地区 小学生スキー教室開催 8
- 各地区除雪ボランティア 7
- 赤い羽根共同募金報告 6
- 燐々せんぼくコーナー 5
- ちょっとぴり提言 4
- 地域福祉ボランティア活動紹介欄です 3
- 各地区サポート委員会の活動から 2
- 各団体から 1
- 心配ごと相談日程 1



西木サポート委員会の事業から



西木地区教室の様子



角館サポート委員会の事業から

角館地区教室の様子

角館・西木地域のサポート委員と桧木内地区運営体、角館スキー連盟からそれぞれの地区に協力をいただき、サポート委員会の趣旨に沿って、スキー教室を開催しました。

開校式、注意事項等の連絡の後、それぞれのグループに分かれ準備体操、歩き方から転び方、起き上がり方等の基本的なことを行つてから、滑り方を行いました。終わり頃には、参加者全員が楽しく満足できた一日でした。

(以下2ページ参照)

角館地区・西木地区にて、地域交流事業の一環として小学生対象のスキー教室が開催されました。



松木内地域スキー教室

一月二十九日（日）、たざわ湖スキー場で松木内地域スキー教室が開かれました。

このスキー教室は、世代間交流の一環として、スキーを通じて年齢を越えて大人も子供も一緒になって楽しみ、交流を深めることを目的として西木地域サポート委員会で発案され、松木内地域運営体のご協力と助成をいただきて実現しました。地域の小学生・保護者の方々など二十四名の参加があり、講師の方々にスキーを教わりました。

終了時間が来る頃には、「もっと滑りたい！」と、まだまだ滑り足りない様子で、「楽しかった」「またやりたい」と笑顔で話していました。皆さん、怪我も体調を崩すことなく帰路につき、終始楽しい雰囲気でスキー教室を終えることができました。



松木内地域の子供達。おつかなびっくりが、終わる頃は1人滑りバッチャリ！



「よし！準備万端！頑張るぞ!!」



「先生！
リフトに乗りたい！！」



閉校式には、子供さんも親御さんも満足でした「もっと滑りたい」の声があちこちから聞こえておりました！

ふれあいスキースクール

角館支所では、角館地域サポート委員会の活動の一つとして「ふれあいスキースクール」を開催しました。

この事業は、角館スキー連盟のメンバーが先生となり、小学校1年生のスキー未経験の子供たちにマンツーマンで指導を行い、スキーの魅力を伝えたいという思いから行われたものです。

当日は十一名の参加者があり、晴天の中でスキーレッスンが始まりました。

開始時には初めての体験ということもあり、不安そうな様子のお子さんもいましたが、いざレッスンが開始されると、持ち前の飲み込みの速さで瞬く間に上達し、早くも実際にゲレンデを滑り始めるグループもありました。

お昼には、付き添いでいらっしゃったご家族と仲良くお弁当を食べ、午後のレッスンに備えます。

閉校式では「もっと滑りたい」「学校のスキー教室が楽しみ」との声も聞こえ、子供たちにスキーの楽しさを伝えることが出来たのではないかと思います。

除雪ボランティア



チームワークで手早い神中生!!



慣れた手つきで作業もはかどる
田沢湖地区職員組合のみなさん

『除雪ボランティア奮闘』

豪雪となつた今冬、田沢湖地区では神代中の学生徒会の皆さんと仙北市職員労働組合員の皆さんによる除排雪ボランティアが行われました。

神代中学校では全校集会を行い、昨年度の反省点をもとに民生委員さんたちと入念に打ち合せ、一回目は一月二十日に十五軒、二回目が二月三日に十三軒と広範囲にわたつて実施してくださいました。

神代地区は高齢の一人暮らしが多く、みなさんがなかなか除雪が出来ずにお困っていた矢先の除雪作業で、大変に喜ばれました。

また、職員組合からは十名ボランティアに参加していただき、二月四日、要援護三世帯の除雪を午前中にあつという間に終えていた

神代中学校では、除雪ボランティアは来年度も実施して下さるという言葉に、一人暮らしの皆さんに「もうすぐ春!」という思いも一緒に届けてくださつたようです。
大変お疲れ様でした。ありがとうございました。

田沢湖地区

『除雪ボランティアを実施』

角館地区では、一回目一月十一日から十三日の三日間、角館高校野球部・サッカー部・柔道部の一年の生徒のみなさんによるボランティアと、二回目は、二月四日に市役所の職員組合の皆さんと社協職員で実施されました。

対象者は高齢者世帯を各家庭を訪問させていただき、軒下にたまつた雪が屋根の高さにまで積み上がつてゐる家屋も多くあり「おかげで家中に光が届くようになつたと」「若者ががんばつてゐる姿を見ているだけで、私も元気を分けてもらえる」など、今年は例年になく雪が多く、高齢者の方々からは、助かつたと大変喜んでいただきました



ベテランの貴禄!
角館地区職員組合のみなさん

角館地区

『西明寺中学校生がボランティア活動』

二月六日西明寺中学校では、全校生徒による除雪ボランティアと、にしき園での清掃ボランティアが行われました。自分の地区の人暮らし高齢者の方に声かけをして、対象者を募り、八件の方が家の周りや玄関先に積もつた雪の除雪をしていただきました。先生と生徒六人位で班を組み、一生懸命に汗をながしてがんばつてくれました。「屋根から落ちた雪で真っ暗になつていて部屋が明るくなつて本当に良かった。」との声や、「かわいい孫たちがたくさんきてくれて、話をしたりしてうれしかった。」と言つて目を細めて見守つていたおじいさんの笑顔がとても印象的でした。今年の冬は記録的な大雪で大変ですが、一人で暮らされている高齢者にとつて心暖まる一日になつたことと思ひます。

西明寺中学校のみなさんありがとうございます。



若いパワーでドンドン除雪の西中生!!

西木地区

赤い羽根共同募金

～赤い羽根 広がる笑顔 つながる手～

平成23年度赤い羽根共同募金運動、歳末たすけあい募金運動は、沢山の市民の方々の温かいご支援により、ご覧のとおりたくさんの善意が寄せられました。赤い羽根共同募金は、秋田県共同募金会に送金され24年度の、県内の民間社会福祉施設や社会福祉協議会の事業への還元されます。

また、皆様からの善意としてお寄せいただきました歳末たすけあい募金は、在宅要援護世帯の方々にあたたかいお正月を迎えていただくためにお届けいたしました。

みなさまの心のこもったご協力ありがとうございました。

○平成23年度 赤い羽根共同募金運動実績報告書

(平成24年1月30日現在)

種 別	合 計		角 館 地 区		田 沢 湖 地 区		西 木 地 区	
	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数
戸 別 募 金	6,439,965	7,773	2,810,400	3,233	2,462,965	3,126	1,166,600	1,414
街 頭 募 金	23,201	5	9,892	3	8,503	1	4,806	1
法 人 募 金	103,000	19	18,000	9			85,000	10
学 校 募 金	332,820	14	188,710	6	87,194	4	56,916	4
職 域 募 金	195,328	75	58,628	30	114,055	27	22,645	18
個 人 募 金	69,000	26	5,000	1	20,000	3	44,000	22
そ の 他	41,477	7	39,346	1	2,126	6	5	
合 計	7,204,791	7,919	3,129,976	3,283	2,694,843	3,167	1,379,972	1,469

○平成23年度 歳末たすけあい募金運動実績報告書

(平成24年1月30日現在)

種 別	合 計		角 館 地 区		田 沢 湖 地 区		西 木 地 区	
	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数
每 戸 募 金	2,431,289	7,678	1,040,252	3,121	954,600	3,134	436,437	1,423
個 人 募 金 他	97,206	5	11,327	2	85,879	3		
合 計	2,528,495	7,683	1,051,579	3,123	1,040,479	3,137	436,437	1,423

○歳末たすけあい募金運動配分先内訳

(平成24年1月30日現在)

種 別	合 計		角 館 地 区		田 沢 湖 地 区		西 木 地 区	
	金 額		金 額		金 額		金 額	
在宅要援護者世帯	1,475,000		535,000		580,000		360,000	
平 成 24 年 度 へ	1,053,495				平成24年度地域福祉事業へ			

○歳末たすけあい募金にご協力いただいた団体○

(個人からの募金については氏名を割愛させていただきます。敬称略)

◎アイルサービス(有) 代表取締役 田 山 満

◎NPO法人秋田ふくしハートネット指定障害福祉サービス事業所 愛仙 管理者 久 米 力

◎田沢地区歳末たすけあい芸術会 実行委員会 実行委員長 高 橋 孝 行

さんさん ボランティア情報 燐々せんぼくコーナー

ちよつぴり提言

「誰もができるふくし」

NPO秋田ふくしハートネット

久米 力

「福祉ってかわいそうな恵まれない人に何かいいことをしてやること」ではなく、「福祉って一人ひとりが生まられてきて良かつたなと思つて暮らすことができるようすること」（慶應大学・浅野史郎教授）

つまり、福祉とは、その人のやりたいことを実現することではないだろうか。押し売りの福祉は存在しない。定義などはない。昔は隣近所が自然に誰となく当たり前に互助・共助精神の下に暮らしてきた。このたびの東日本大震災においては、全国から多くのボランティアが活動され頭が下がる思いである。しかし、中には、行政、企業側から自分の意に反し、命令的に派遣され仕方なくボランティア活動に参加したという悲しい事実も聞く。がっかりした。本当にそこまでして活動する意義があるだろうか。報道はない裏事情に考えさせられた。もし、万一、自分が、その家族が震災等の被災者になつたら…心も通わない活動に感謝の気持ちは湧くだろうか。

震災も障がいも自分とは無関係という保証は全く存在しない。みんながあたたかい思いやりの心と感謝の心を持ち続ける地域の一員でありたい。



「愛仙にじ」毎年夏恒例の「成人式」です



「愛仙さくら」贈答品のタオルやゴミ箱の作成の一コマ

地域ボランティア「ひまわり」(田沢湖) 活動紹介欄

8

活動範囲は、主にミニデイサービス（他の地域では、かかるベ会に相当）、介護施設等を訪問して活躍なさっています。ミニデイサービスでは、足裏マッサージ、昔語りや歌、小物づくりを織り交ぜながら二時間程度と一緒に過ごしています。終わつた後、「身体が軽くなつた・温かくなつた」などの声が出たり、「小物作りは、むずかしいなあ…」と、言いながらも和やかな時間に包まれて、とても嬉しい…と語っています。介護施設では、昔語りと歌は、定番（月一回）ですが、数回行われる誕生会で、メイクをしてあげるととても喜んでいただいている…、と紹介してくれました。

コミットとした会員で、「できる範囲で頑張つてはいるし、パワーをいただいている…」、「待つていてくださる方々が楽しい…」、…とも思いました。今後のさらなるご活躍をお願いします。



西木町での集まりにて(六本杉下 老人の家)



ミニデイサービス(武藏野下5「まめでら会」)の様子

角館サポート委員会

角館サポート委員会では、地域で共通した生活課題を発見し、住民参加によって、その解決策を見出すことを目的として活動しています。

これまで、中川小学校での「三省まり」や「小学校低学年を対象としたスキー教室」等の支援を行ってきております。

今後も、みなさんがお住まいの地域に合った交流の場を立ち上げるきっかけになるようなことも考えて、試行錯誤しながら活動してまいりたいと考えております。

具体的には、地域交流の場の立ち上げに関する他の地域を例にした情報提供や助言などをを行い、みんなの地域における交流活動等のサポートをしてまいりました。

ざんの地域におじやあれば、みなさんのお住まいの地

まで、遠慮

といふと思つてありますので、遠慮

説明等させ

たいと思つてありますので、遠慮

お待ちしております。

無く角館支所までご連絡下さい。お待ちして



角館地区サポート委員の話し合い



野中清水地区での住民同士の話し合い

田沢湖サポート委員会

地域交流事業を行っております。地域の住民同士がお互いに知恵や力を出し合いながらコミュニケーションを図つていくことを柱としている事業です。

地域の現状は、少子高齢化の影響で地域住民同士が以前のように容易に顔を合わせる機会が減り、隣り近所との関係づくり・助け合っていくしくみが薄くなりつつあります。

このような現状を踏まえ、地域・町内会全体で支え合いや助け合いの関係を築き、住みよい地域づくりへ向けた取り組みを住民自らの手で作っていくきっかけを、お手伝いしたいと存ります。

今回の震災の経験から、隣近所の助け合いの大切さを一層強く感じました。

田沢湖地域では、ミニデイサービスを十二地区で行っていますが、もっと広めたいと存っています。

このような事業に興味のある地域の方は、田沢湖支所までご相談ください。

相携えて、頑張っていきたい

いきます。

サポート委員会では応援させてい

だきます。

西木サポート委員会

西木地域サポート委員会では現在、「地域との交流を図る」「小地域での交流を図る」、「世代間交流を図る」を推進項目として活動を進めています。

地域の行事を通して地域に入り、交流を図りながら、行事の活性化と住民とのふれあいの場づくりを進めることを目標に、今年度も上桧木内の紙風船上げまつりへ、鳥屋森・坂本集落にご協力をいただきながら参加しました。今年は新たな試みとして西明寺地域の古堀田集落の方々にも紙風船と打ち上げに加わつていただき地域との交流を図りました。

小地域の交流としては、各集落で「じつぱり語るべ会」を開催して地域住民の交流の場を作り、介護予防・閉じこもりの防止、生きがいづくりをはかりました。この「じつぱり語るべ会」がさらに発展して住民が中心となつて活動する「いきいきサロン」となるよう進めております。

世代間交流では、大人から子供までの世代間のつながりの重要性を認識できるよう活動を行っています。先に挙げました古堀田集落での紙風船作成には、集落の子供たちも参加し、地域のお年寄りの方々とふれあいました。また、サポート委員が中心となり、桧木内運営体、桧木内小学校のご協力を得て、スキー教室を開催し、大人と子供が楽しみながら交流を深めました。

今後も「地域と人」とが楽しく支え合う「まちづくり」をめざし、事業の発展に努めて参ります。

自分たちの地区でかかるべ会を行いたいなどの要望や意見などお気軽に西木支所までご連絡ください。



サポート委員会
問い合わせ先

- 仙北市社協角館支所 仙北市角館町小勝田間野 54 番地 5 TEL.0187-54-2493
- " 田沢湖支所 " 田沢湖生保内字宮ノ後 39 TEL.0187-43-1368
- " 西木支所 " 西木町桧木内字高屋 110-2 TEL.0187-48-2940

『角館寿楽荘』と『かくのだて桜苑』 どこが違う?

	角館寿楽荘	かくのだて桜苑
区分	養護老人ホーム	特別養護老人ホーム
対象者	<p>65歳以上の高齢者で、一人暮らしや難しい方です。 介護保険施設ではないため、寝たきりの方などは、入所できません。</p> 	<p>原則65歳以上の要介護1~5の高齢者で、日常生活で常に介護の必要性があり、自宅で介護を受けることが難しい方です。</p> 
受付窓口	<p>入所に関する相談は、福祉事務所で受けつけし、入所の判定をします。</p> <p>※緊急保護（虐待等）の入所が優先されることもあります。</p>	<p>申し込みは直接施設に行くか、居宅介護事業所等のケアマネージャーが代行し、申し込みします。</p> 
入所の基準	<p>次の1、2いずれにも該当する場合です。</p> <p>1. 環境上の事情が、次のアおよびイに該当すること。</p> <p>ア 健康状態……病院に入院して治療するような状態でないこと。</p> <p>イ 環境の状況……在宅で生活することが難しい状態であること。</p> <p>2. 経済的事情が、次に該当すること。</p> <p>ア 入所しようとする高齢者の世帯が生活保護を受けていること。</p> <p>イ 入所しようとする高齢者およびその生計を維持している方に住民税の所得割が課税されていないこと。</p>	<p>次にあげる項目ア～エ等を調査し、市や施設の入所基準に基づいて、必要性の高い方から入所します。</p> <p>ア 本人の状況（要介護度） イ 介護の必要性 ウ 家族等介護者の状況 エ 入所申し込みからの期間</p> 
費用の負担	<p>入所者本人と扶養義務者から負担能力に応じて、入所者の入所前の市町村が徴収します。（前年度の所得により39階層に分けられます）</p>	<p>入所者本人または扶養義務者が、サービス費用の1割、居住費・食費・その他雜費を負担します。</p> 

介護の相談については、下記までお気軽にご相談下さい

居宅介護支援
事業所

- 角館ケアマネステーション 仙北市角館町小勝田間野54番地5 TEL.0187-54-2493
- 田沢湖ケアマネステーション // 田沢湖生保内字宮ノ後39 TEL.0187-43-1368
- 西木ケアマネステーション // 西木町桧木内字高屋110-2 TEL.0187-48-2940

角館芸能ボランティアチャリティーショーが開催されました



チャリティーショーでの
素晴らしい手踊り

「地域福祉への貢献と芸能ボランティア登録団体の発表の場の創設」を目的に、毎年開催している芸能ボランティアチャリティーショーです。当日（十一月二十七日）は、天気に恵まれ大勢の市民のみなさんにおいでいただきました。今回は、回を重ね二十四回となつたチャリティーショー、日頃の練習の成果を十二分に発揮、かわいい子供達の田植え踊りや、華麗な舞の披露に惜しみない拍手が送られました。

毎回、収益金の一部を社会福祉協議会にご寄付いただいております。この場をお借りして感謝申し上げます。

仙北市身体障害者福祉大会が開催されました



身障協福祉大会表彰式の様子

十一月二十二日西木温泉ふれあいプラザクリオンにおいて仙北市身体障害者協会主催の仙北市身体障害者福祉大会が「自立と社会参加を促進し、障害者自らが諸問題への関心を深めることで福祉の増進を図ることを目的とするとともに、会員相互の親睦を深めていく」ことを趣旨として開催されました。仙北市身体障害者協会会长表彰として、畠山ミヨ（田沢湖）、草彌講成（角館町）、佐藤清太郎（西木町）の三名の方々が表彰されました。（敬称略）

続いて、三名の方から体験発表をいただき、その後懇親会を行い盛況のうちに閉会いたしました。

市社協では、相談援護活動として心配ごと相談を各地で行っています。地域や日常生活で抱える心配ごとに相談員が適切な助言を行い、相談内容によっては関係機関へ連絡を取るなど、心配ごとの解決の手助けをいたします。

心配ごと相談日程

● 日 程

角館地区

角館支所

3月8日(木)
午後1時～4時

角館支所

3月22日(木)
午後1時～4時

田沢湖地区

神代地区
(神代出張所)

3月14日(水)
午後1時～4時

生保内地区
(総合開発センター)

3月21日(水)
午後1時～4時

西木地区

紙風船館

3月15日(木)
午前10時～正午



介護のことについては、下記までお気軽にご相談下さい

訪問介護

- 角館ヘルパーステーション
- 訪問入浴ステーション
- 田沢湖ヘルパーステーション

仙北市角館町小勝田間野 54 番地 5 TEL.0187-54-2493
" " "

田沢湖生保内字宮ノ後 39 TEL.0187-43-1368

通所介護

- 田沢湖デイサービスセンター
- 田町デイサービスセンター

田沢湖神代字野中清水 292-1 TEL.0187-44-2700

角館町田町上丁 35 番地 1 TEL.0187-54-4224